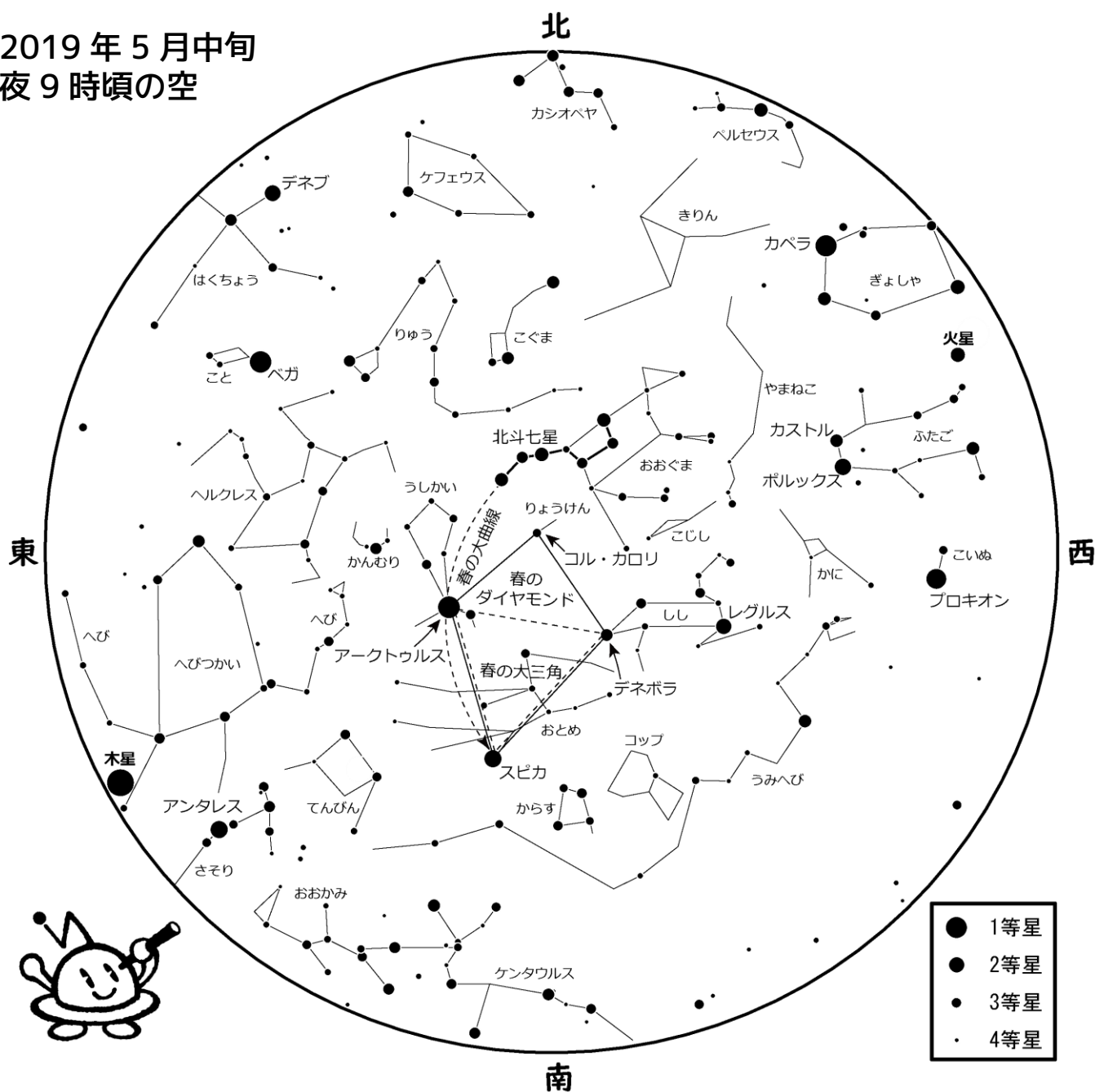


阿南市科学センター 5月の星空案内

2019年5月中旬
夜9時頃の空



日本ではよく“ひしゃく”の形に見立てられる**北斗七星**が空高い位置に見えます。北斗七星は**おおぐま座**の一部で、背中から尻尾にかけての部分です。ひしゃくの柄（持つところ）のカーブを伸ばしていくと**うしかい座**の**アークトゥルス**、**おとめ座**の**スピカ**の順に春の**一等星**を見つけることができ、これを『**春の大曲線**』といいます。アークトゥルスとスピカに加えて、**しし座**の二等星**デネボラ**を線で結ぶと**春の大三角**となります。春の大三角の北側には、**りょうけん座**の三等星**コル・カロリ**があります。春の大三角とコル・カロリを結んでできる大きなひし形が**春のダイヤモンド**です。ぜひ、探してみてください。

天体観望会の予約・お問い合わせ先

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川淵8-1 電話 0884-42-1600

🌙 月の満ち欠け

名称	新月	上弦の月	満月	下弦の月
形状				
見える日	5月5日	5月12日	5月19日	5月27日

🪐 惑星について

名称	水星	金星	火星	木星	土星
見どころ	初旬頃、夜明け前に東の超低空に見え、月末頃西の超低空に見える。	夜明け前、東の低空に見える。	夕方、西の空で見える。	夜半過ぎから南の空で見える。	夜半過ぎから南東の空で見える。
明るさ	約0等	約-4等	約2等	約-2.5等	約0等

☆おすすめ天体①【かに座ι（イオタ）星】

望遠鏡で見ると、黄色と青のコントラストが美しいかに座ι（イオタ）星は**二重星**です。二重星で特に有名なはくちょう座のアルビレオと似た色をしています。アルビレオは夏の天体ですが、かに座のι（イオタ）星は春の星座のかに座にあるため、ハルビレオというあだ名もあります。科学センターの観望会でもご案内しています。

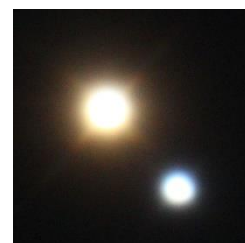


図1: かに座ι（イオタ）星

☆おすすめ天体②【球状星団 M3】

私たちの天の川銀河円盤の外にある**球状星団**は年若い星の集まりで、その名のとおり星が丸く球状に集まっています。春の星空には、球状星団の中でも巨大な**りょうけん座のM3**があります。星の数約50万個、直径は約100光年以上といわれています。M3は月明かりがあっても比較的に見やすい天体で、この時期目玉の天体の一つです。科学センターの観望会でもご案内しています。



図2: 球状星団 M3

☆見えるかな？【子持ち銀河 M51】

大小2つの銀河がつながっているため、**子持ち銀河（M51）**と呼ばれる有名な銀河で、**りょうけん座**にあります。月明かりがなくて気象の条件が良ければ、2つの銀河の中心と双方の銀河を結ぶ腕もかすかに見えるかもしれません。

科学センターの観望会で見た場合は、スタッフにリクエストすると見ることができます。



図3: 子持ち銀河 M51